



## 今月のごあんない

### 冬休み特別企画

## ブナセンター木工房で 工作しよう！

冬休みの工作  
応援します！

冬休み期間中、町内小中学生のみなさんを対象に、以下の日程で木工房を無料開放します。工房に常備してある木材や、イタドリ、松ぼっくりなどの自然素材を使って、好きなものを作ってみませんか？

[対象] 町内の小学1年生～中学3年生

[期間] 1月8日(水)～1月13日(月)

[時間] 9:30～17:00(開館時間内) イタドリの  
パンフルート

★工房使用料：無料

★事前の申込みは不要です

★材料費別途(持ち込み可)

★大人が手伝う場合も使用料無料です



※原則、小学生は保護者の付き添いが必要です  
※作り方や道具の使い方などはスタッフが説明します

### 削り馬体験もできます

上記期間、木工房で「削り馬」の体験もできます。12月のブナセンター講座「木のカタリをつくらう！」で使用した「削り馬」で、生木を削って作るスプーン作りなど体験してみませんか？

※詳しくは学校配布のチラシにて

## ブナの盆栽講座\*2020

陶芸での鉢作りと、ブナを育てる楽しみが好評の「ブナの盆栽講座」。2010年、2013年、2015年に続き、このたび4回目の講座を開催します。おおまかな日程は以下の通り。陶芸や盆栽の入門編としてお気軽にご参加ください。

### まずは①盆栽鉢作り 1月～3月

下記の日程の中で、都合のいい日にお越しください。1回の参加で1つだけ鉢を作るもよし、何度も参加して複数作るもよし。

[日程] ◆木曜コース 毎週木曜日(陶芸教室の時間帯)  
13:30～15:30 または18:30～20:30

◆日曜コース 1月19日・2月2日・3月1日  
13:30～15:30

[参加費] 粘土代(1kgにつき500円)

※作品の大きさ、数によって変わります

[定員] 各回6名

[申込み] 希望日の前日までに  
ブナセンターへ

### その後の予定

②完成した鉢の釉薬がけ 3月下旬

③ブナの苗の植え込み 4月以降

④盆栽の管理方法 5月以降



あなたの暮らしに  
ブナを

## 森へ行こう 冬のブナの小道散策

「冬の森歩き入門」として、ブナセンター近くの「ブナの小道」周辺をかんじきで歩いてみましょう。冬の森の楽しみ方や、冬の森歩きに適した服装などのレクチャーもあります。

[日程] 1月26日(日)

[参加費] 300円

[時間] 10:00～12:00

[持ち物] 飲み物、防寒着

[集合] ブナセンター

[申込み] 1月25日(土)

## 西馬さんの木工教室 さくらのおさら

木工ろくろを使って作る「さくらのお皿」(3月まで全8回)はすべて定員となりました。見学はできますので、ぜひどうぞ。1月の日程は以下の通り。

③12月26日&1月9日

④1月16日&23日 各回木曜日

⑤1月30日&2月6日 18:30～20:30

## 渋谷式かんじき 貸し出します！



黒松内名物「渋谷式かんじき」は、故・渋谷吉尾翁が改良を重ねながら完成させた桑材のかんじきです。ひもでしぼるだけのはきやすさと、軽くて丈夫で歩きやすいのが特徴。一度お試しあれ！

期間：積雪がある間

※渋谷さんが北海道主催「先人カードめぐり」の先人100人に選ばれました。渋谷さんのカードはブナセンターで配布しています！

貸し出し料：1足200円(1日)

◆「渋谷式かんじきができるまで」展示中◆過去に渋谷吉尾翁が出演したTV番組を7つ厳選して上映中(ブナホールにて)

## 「えがこう！未来のくろまつない」 上映会のお知らせ

[日程] 1月18日(土)・19日(日)・25日(土)・26日(日)

[時間] ①11時～ ②14時～ ③16時～

…日程中、毎日3回1時間程度

[場所] ふれあいの森情報館 マナヴェール

歌才ブナ林天然記念物指定90周年事業で作成した映像を上映します。海外や国際アニメーション映画祭で上映された「黒松内の子どもの夢」の映像も見ることが出来ます。子どもたちが描いた原画も展示しますので、ぜひお越しください！

## そもそも「盆栽」って何？

「盆栽」とは一体何なのでしょう。一言でいえば、“鉢の中に植物を使って自然の景色を描く遊び”（※）のことです。

どんな植物も鉢に植えて育てれば「鉢植え」になります。ですが、それだけでは盆栽とは言えません。そこに景色を作ってはじめて、その鉢植えは盆栽と呼べるのです。

盆栽の特徴の1つに、「無駄に樹木を大きくしない」というものがあります。樹木の大きさを決めるのは、実は根の大きさ。そこで、あえて小さな鉢に樹木を植えて根の拡大を抑えています。こうして小さな姿のまま年月を重ね、幹や枝をつくりこんでいきます。

盆栽の魅力は、雄大な時間感覚。自分の人生よりも長い時間をかけ、時には託し、託されながら樹木を育てていくのです。



※山田香織(2015).はじめての盆栽 づくり方&育て方ナツメ社 pp.10

## ブナの盆栽なんてあるの？

盆栽と聞いてまず思い浮かべるのは、濃い緑、針のような葉をもつ針葉樹ではないでしょうか。針葉樹の盆栽は、「松柏」（しょうはく）といって、マツ、スギ、イチイ、ヒノキなどが代表的です。

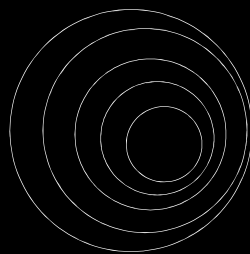
一方、広葉樹の盆栽は、「雑木」（ぞうき）と呼ばれます。雑木の魅力は、何とんでも「四季の移ろい」を楽しめること。芽吹きや花、実り、紅葉、そして落葉した冬は枝ぶりなど、1年を通して異なった表情を見せてくれます。



▲樹齢を重ねたブナの盆栽

雑木（ぞうき）の中でもブナの人気は根強く、樹齢80年に迫るような立派な盆栽もあります。黒松内に生育している広葉樹で盆栽に向いているのは、ブナ、カエデ・モミジ類、サクラ類、マユミ類ウルシ類、イワガラミなどだそうです。

# 盆栽の世界



2020年1月から5年ぶりに「ブナの盆栽講座」が始まります。そこで今月号の特集では、盆栽の豆知識やその魅力をお届けします。

## スタッフが語る、盆栽の魅力

ブナセンターでは、春から初冬まで、玄関前にブナをはじめとする黒松内の樹木を植えた盆栽を展示しています。ここでは、日々盆栽の世話をする中でスタッフが感じた思いをご紹介します。

ブナの盆栽は、葉の量と根の量のバランスを考えて、葉や枝を切ったりして手入れをします。

盆栽を始めてからブナ林に行くとブナの大木の葉の多さとそれを支える根の量を想像することができ、それまでとは違う視点で森を見ることができます。

大人になってから盆栽を始めた人は必ずと言っていいほど「小学生の頃に始めておけば、今頃立派な盆栽を手に入っていたのに…」というようなことを言います。

「盆栽＝お年寄りの趣味」というようなイメージがあると思いますが、それほど手間もかからず、目の前で樹木の芽吹きや黄葉が見られ、育て始めると気になる存在の盆栽。小中学生諸君！「盆栽ライフ」、始めてみてはいかがでしょうか。

盆栽は樹木とのコミュニケーション。日々の水やりや剪定など、手間はかかりますが、厳しい冬を乗り越え、春、若葉が芽吹いた時の喜びをぜひ体感してほしいです。

ブナの盆栽講座の詳細は裏面をご覧ください。皆様のご参加お待ちしております！



▲陶工房で鉢から手作りします

### 【1月の休館日】

14日/20・21日/27・28日

年末年始の休館 12月28日～1月7日

(ブナセンターは通常毎週月曜日と火曜日が休館日です)

●「ブナセンターだより」はブナセンターHPからPDFファイルをダウンロードできます。

●「ブナセンターだより」郵送ご希望のかたは、郵便番号、住所、氏名、電話番号を明記のうえ、希望回数分の84円切手を同封してブナセンターまでお送りください。

発行所：黒松内町ブナセンター

〒048-0101 寿都郡黒松内町字黒松内 512-1 TEL (0136)72-4411 FAX (0136)72-4440

メール [bunacent@host.or.jp](mailto:bunacent@host.or.jp) HP <http://www.host.or.jp/user/bunacent/> fb <https://facebook.com/bunacent.kuromatsunai/>